

日本都市学会ニュース NO. 36 2013. 7. 7

発行 日本都市学会 〒460-0008 名古屋市中区栄4-12-26 栄CDビル5A OASIS都市研究所内
 TEL 052-252-7741/FAX 052-251-5058
 郵便振替 00130-0-512255/三菱東京UFJ銀行栄町支店普通口座 0126767
 <e-mail>info@toshigaku.org <ホームページ>http://www.toshigaku.org/

日本都市学会第60回大会(2013年度)を開催します

日本都市学会第60回大会は、2013年10月25日(金)～27日(日)の間、香川県高松市の高松駅前のレストラン高松を会場として、「地方都市と国際化・国際交流」をテーマに、下記のスケジュールで開催されます。

研究発表ご希望の方は、8月9日(金)16時必着で、中四国都市学会事務局まで、お申し込み下さい。詳細は、別途お送りする「大会開催のお知らせ」あるいは日本都市学会ホームページをご覧ください。

プログラムは9月上旬に決定しますので、その後お手元にお届けする予定です。

大会スケジュール案

10月25日(金)

14:00 エクスカーション (高松中心部 (商店街) の今 (と国際化) (案))

10月26日(土)

午前 研究発表 I

午後 第60回大会記念講演・基調講演・シンポジウム

日本都市学会賞授賞式

日本都市学会総会

夕方 懇親会

10月27日(日)

午前 研究発表 II

2012年度第1回常任理事会報告

2012年度第1回常任理事会は3月24日(日)東京都港区の広島大学東京オフィス408号会議室で開催され、戸所会長はじめ越澤明、松本行真、土居洋平、吉川忠寛、熊田俊郎、磯部友彦、小長谷一之、山崎健、由井義通、堤昌文の各常任理事が出席しました。

議題は①2012年度事業報告・決算見込みについて(案)、②2013年度事業予定・予算案について(案)、③日本都市学会第59回大会について(報告)、④日本都市学会第60回大会について、⑤日本都市学会第61回大会について、⑥学術・編集委員会(論文審査)について、⑦年報発行予定について、⑧学会賞選考予定について、⑨その他(役員名簿、事務局の交替について)でしたが、各議題について順次報告があり、とくに議論はありませんでした。

なお、事務局の移転については、杉野次期事務局長が出席し、4月以降の事務局の所在地等について報告がありました。

2013年度第1回理事会報告

第1回理事会は、6月16日(日)13時30分～15時40分、名古屋都市センター第1会議室で開催され、戸所隆会長をはじめ、森傑、増田聡、井上繁、土居洋平、高田弘子、林上、久隆浩、山崎健、山田浩之、堂前亮平、外井哲志の各理事、越沢明、熊田俊郎、磯部友彦、大塚俊幸、小長谷一之、堤昌文の常任理事、さらに平篤志(大会事務局)、杉野尚夫事務局長が出席しました。

議事の概要は以下のとおりです。

1 常任理事の指名

8名の常任理事を会長から指名されました。

2 日本都市学会事務局設置規程について

設置規程を可決後、戸所会長と中部都市学会林会長で協議が行われ、杉野尚夫が事務局長に指名されました。

3 2012年度事業報告および決算報告案

一部修正のうえ原案承認されました。

4 2013年度事業計画および予算案

年報の発行時期について、毎年予定時期より大幅に遅れていることが指摘され、議論がありましたが、会長から、発行が遅れないことが重要で、次号から努力願いたいとの意見も踏まえて、原案が承認されました。

5 学会賞事務局報告

論文賞の重複受賞が議論になりましたが、昨年度の選考委員会における話し合いの内容も踏まえて、重複受賞を避ける方向(異なる賞の重複はかまわない)で選考をしてほしいとの結論になりました。

また、無査読論文が論文賞の対象になることについての疑問が出されたが、これについては選考規程になんらの制限が記載されていないので、対象とすることが確認された。

なお、このような申し合わせについて、選考規程などにきちんと位置づけをすること、合わせて複雑すぎる学会賞関連の規程群を整理して今年度中に理事会に諮ることになりました。

6 論文審査事務局報告

2013年度論文審査方針の中で提案のあった編集・学術委員6名の選任案は原案通り承認されました。



第1回理事会の様子

7 年報事務局報告

発行が遅れている年報第46号編集については、担当常任理事から、7月末日までに発行することが報告されました。

事務局から、投稿論文の対象および不採択論文の処理について、現行の制度と「日本都市学会査読付き論文投稿要領」の記述にズレがある点が指摘され、論文担当事務局で至急処理することになりました。

8 大会について

第59回大会（2012年）の会計報告の中で、支出項目中の理事会費用について、本来、本部事務局が負担すべきものではないかとの質問があり、これについて九州都市学会と本部事務局との間で後日協議して整理することとなりました。

第60回大会（2013年）について、大会担当事務局から説明がありました。非会員による研究発表の是非について議論がありましたが、「主発表者は会員でなければならない」とすることになりました。大会テーマについては、原案通り決定されました。

第61回大会（2014年）は、10月24～26日までの間に、近畿都市学会が担当して、京都市の協力を得て、同志社大学を会場として大会を開催するとの基本方針について了承、細部については今後詰めていただくこととなりました。

第62回大会（2015年）は、中部都市学会と順番を入れ替えて関東都市学会が担当し、北陸新幹線の開通を機に上越市において大会を開催したい旨報告があり、了承されました。なお、中部と関東の順番の入れ替えは臨時的なものであり、次には元に戻すことも確認されました。

9 「新しい都市学を考えるワーキング」経過報告

中部都市学会、関東都市学会、近畿都市学会、九州都市学会などから経過報告がありました。

10 その他

事務局よりホームページのリニューアルおよび服部銈二郎顧問の逝去について報告がありました。

60周年記念事業については、事務局より「過去60回の大会プログラムを収集し、その内容を記念誌にまとめて、大会までに出版する」という事業提案が出され、準備作業に入ることについて了承され、次回の理事会に経費を含めて詳細計画を提出することになりました。

最後に戸所会長から、①分散事務局の見直し、②常任理事のあり方の検討、③北海道都市地域学会との関係の修復可能性の3点について、この2年間で考えていきたい旨意見表明がありました。

日本都市学会事務局長設置規程を制定

これまであいまいとなっていた日本都市学会事務局長に関する規程が新設されました。

日本都市学会事務局長設置規程

（名称）

第1条 日本都市学会本部事務局の責任者を日本都市学会事務局長（以下「事務局長」という。）と称する。

（指名）

第2条 事務局長は、本部事務を担当する地域都市学会会長と協議の上、日本都市学会会長が指名する。

（任期）

第3条 事務局長の任期は、本部事務局が他の地域都市学会に移動したとき、または新たな事務局長の指名があったときまでとする。

（職務）

第4条 事務局長は、本部事務を総括するとともに、分散事務局および地域都市学会事務局との連絡調整を図り、円滑に日本都市学会の運営を行わなければならない。

（会議への出席）

第5条 事務局長は、本部事務局が主催する会議等の全部に出席することができる。また、分散事務局が主催する会議等についても、主催者の許可を得て出席することができる。

第6条 前条により出席した会議等において、事務局長は、日本都市学会の運営に必要な場合は意見を述べることができる。ただし、議決に加わることはできない。

付則 この規程は2013年6月16日から施行する。

第61回大会は京都市、第62回大会は上越市で

2014年の第61回大会は近畿都市学会が担当して京都市で開催されます。また、2015年の第62回大会は関東都市学会担当で新潟県上越市で開催される

ことが決まりました。

2013・2014年度編集・学術委員決まる

2013・2014年度編集・学術委員に次の6名が、第1回理事会において選出されました。

林 上 (都市地理学・中部)
 平 篤志 (経済地理学・中四国)
 梶田 佳孝 (都市計画学・九州)
 竹内 伝史 (都市交通、交通政策・中部)
 和田 清美 (都市社会学・関東)
 河藤 佳彦 (都市経済学、地域経済学・関東)

学会賞等選考委員決まる

本年度の学会賞(奥井記念賞)の推薦は、阿部亮吾著『エスニシティの地理学—移民エスニック空間を問う—』古今書院、2011.12.25発行の1点のみでした。選考委員は、常任理事全員で選考委員会は9月8日に開催されます。

論文賞は18件がノミネートされ、選考委員は、森傑、増田聡、井上繁、土居洋平、林上、高田弘子、久隆浩、山崎健、山下博樹、外井哲志の11名が選ばれました。選考委員会は9月8日に開催されます。

日本都市学会特別賞は、今年度推薦がありませんでした。

お願い

第13回大会のプログラムを探しています

日本都市学会60周年記念事業として過去60回の大会プログラムを収集し、整理して記念誌を発行することを計画しています。

古いプログラムは、すでに事務局にほとんど集まっていますが、1966年(昭和41年)に松本市美ヶ原温泉ホテルでで開催された第13回大会のプログラムだけがありません。

お持ちの方あるいはお持ちの方をご存じの方は至急本部事務局へご連絡下さい。お借りをするかコピーをとりにお伺いさせていただきます。

古参会員の方々、よろしくお願ひします。

日本都市学会ホームページをリニューアルしました

日本都市学会のホームページがあまり更新されず、利用されない状態が続いていましたが、事務局の移転を機に、デザインを全面刷新しました。素人のやることですから、プロのつくるホームページにはとても及びませんが、見やすいことを目標に、常に最

新の情報を掲載するようにしています。

会員の皆様にご利用いただくと同時に、さまざまなご注文をいただきますようお願いいたします。

服部銈二郎顧問がご逝去

日本都市学会顧問服部銈二郎先生が、2013年6月9日朝、ご逝去されました。享年91歳。

6月14日午前11時から、ご自宅のすぐ近く台東区竜泉にある正燈寺において、葬儀が執り行われました。本学会からは、会長、事務局長が参列。そのほかにも多くの会員が通夜、告別式に出席され、こよなく都市を愛し、都市学会を愛して下さった服部先生を偲びつつ、お送りしました。

葬儀委員長の大塚昌利立正大学名誉教授のごあいさつの中で、服部先生はヘビが大嫌い、そのことが都市地理学を選ばせた要因であったとのお話がありました。引き続きごあいさつをされたご長男からは、ヘビが嫌いな先生はウナギもまったく食べなかったけれど、晩年になってウナギが大好物になったというお話があり、先生の知らなかった一面を知ることができ、ちょっとうれしい思いがしました。

服部先生は、1921年東京都牛込生まれ、立正大学文学部地理学科卒業、立正大学文学部教授、同大学院研究科委員長を経て、立正大学名誉教授。アーバン・アメニティ研究所長。理学博士。1972年日本都市学会賞(奥井記念賞)受賞。関東都市学会会長を経て、1997年から2001年まで日本都市学会会長をつとめられ、関東と本部の板挟みになる苦しい立場の中で、関東都市学会による会費滞納問題の解決にご尽力をいただきました。



先生の遺影は少々見えにくいのですが

服部先生の専攻は都市地理学、地誌学、アーバンアメニティ論。著書に『日本の都市化』『都市発展の理論』『大都市地域論』『都市の魅力』『変貌する都市』『都市と国土』『都市化の地理』『商店街と商業地域』『都市と盛り場—商業立地論序説—』『盛り場—人間欲望の原点—』『都市の表情—らしさの表

現像一』『都市の魅力』『都市を読む地域を診る一都市診断学一』『東京を地誌る一江戸から東京・世界の東京一』『都市一人類最高の傑作』『観光列島診断スーパーマニュアル一観光地の魅力測定法一』『タウンイメージ・東京』『街は素敵なファッションの舞台一商店街からファッション・タウンへ』『教養の都市地理学』『観光診断ケーススタディ』『浅草・上野物語一江戸・東京、原点のまちの物語一』『服部銚二郎都市選集』『現代日本の地域研究』など多数です。

本部および分散事務局が移転しました

本部事務局（中部都市学会）

〒460-0008 名古屋市中区栄4-12-26
栄CDビル5A OASIS都市研究所内
TEL 052-252-7741 FAX 052-251-5058
責任者：杉野尚夫（事務局長）

年報担当事務局（関東都市学会）

〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698
駿河台大学法学部 熊田俊郎研究室
TEL・FAX 042-974-7001（直通）
責任者：熊田俊郎

学会賞担当事務局（中四国都市学会）

739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1
広島大学大学院教育学研究科社会認識教育研究室
内 責任者：由井義通
TEL・FAX 082-424-6804
e-mail:yyui@hiroshima-u.ac.jp

論文審査担当事務局（九州都市学会）

〒819-0395 福岡市西区元岡744番地
九州大学大学院工学研究院環境都市部門（土木）
責任者：外井哲志
TEL 092-802-3410 FAX 092-802-3361
e-mail:toi@civil.doc.kyushu-u.ac.jp

60回大会開催事務局（中四国都市学会）

760-8522 高松市幸町1-1
香川大学教育学部 責任者：平 篤志
TEL 087-832-1581（研究室）
e-mail:taira@ed.kagawa-u.ac.jp

2013年度日本都市学会役員

会長 戸所隆（関東）

理事 森傑（北海道）、増田聡（東北）、千葉昭彦（東北）、井上繁（関東）、土居洋平（関東）、西野淑美（関東）、高田弘子（中部）、林上（中部）、久隆浩（近畿）、山崎健（近畿）、山田浩之（近畿）、山下博樹（中四国）、寺谷亮司（中四国）、堂前亮平（九州）、外井哲志（九州）

常任理事 越沢明（北海道）、土屋純（東北）、熊田俊郎（関東）、磯部友彦（中部）、大塚俊幸（中

部）、小長谷一之（近畿）、由井義通（中四国）、堤昌文（九州）

監事 佐藤直由（東北）、高山正樹（近畿）

地域都市学会事務局一覧

北海道 062-8520札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1
都市地域 札幌大学女子短期大学部経営学科小山研
学 会 究室内 TEL 011-852-9342（直通）
<e-mail> koyama-s@sapporo-u.ac.jp

東 北 970-8034 福島県いわき市平上荒川字
都市学会 長尾309
福島工業高等専門学校コミュニケーション情報学科松本行真先生気付
TEL 0246-46-0850

<e-mail> matsumoto.m@fukushima-nct.ac.jp

関 東 112-8606 東京都文京区白山5-28-20
都市学会 東洋大学社会学部社会学科西野淑美研究
室内

TEL 03-3945-7453/FAX 03-3945-7453

<e-mail> y_nishino@toyo.jp

中 部 487-8501 春日井市松本町1200番地
都市学会 中部大学人文学部大塚研究室内

TEL 0568-51-9107/FAX 0568-52-0622

<e-mail> chubutoshi@isc.chubu.ac.jp

近 畿 631-8502 奈良市山陵町1500
都市学会 奈良大学文学部地理学教室（酒井研）内
TEL 0742-41-9539/FAX 0742-41-9539

<e-mail> kinkitoshi@mbn.nifty.com

中 四 国 739-8524 東広島市鏡山1-1-1
都市学会 広島大学大学院教育学研究科社会認識教
育学研究室内

TEL 082-820-2345/FAX 082-820-3724

<e-mail> yyui@hiroshima-u.ac.jp

九 州 839-8502 福岡県久留米市御井町1635
都市学会 久留米大学経済学部・文化経済学科 浅
見良露研究室内

TEL 0942-43-4411/FAX 0942-43-4797

<e-mail> asami_yoshitsuyu@kurume-u.ac.jp

学会ニュース19号を制作してから8年余、再び制作することになったニュースは36号、号数は2倍近くになっていた。まだホームページなどない1996年5月に学会広報紙として創刊、ほぼ1年に2回発行して17年余がすぎた。

本部事務局が4年ごとに移転するようになって、移転の都度、事務局資料の多くが失われる現状から、この学会ニュースが学会の歴史を記録する、貴重な資料になっているようだ。

だから、できるだけ多くの内容を、正確に掲載しておかなくては、と思う。（杉）